

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	ムトスまちづくり推進課	事業No.	207
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H11	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
	法令・例規等				
事業目的	対象	首都圏や中京圏等に在住の飯田市出身者で構成される信州飯田ふるさと会連合会など			
	意図	交流活動などによるふるさと飯田のPR、首都圏からの支援や人材誘導などの展開			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	首都圏と飯田市の都市間における人的ネットワークの拡大と首都圏における飯田市の認知度向上を図るため、信州飯田ふるさと会連合会などと連携して情報収集と田の情報発信を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症に伴い、東京での会議が一切中止となり、協議や情報発信が行えず、電話やメールでのやり取りだけとなりました。		ふるさと会等との交流(情報交換)				10	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	
	ふるさと会や県人会との交流事業数	回	7	5	9	7	9	5
2年度決算(千円)	予算額	325	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	10						
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
	一般財源	10						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	10	4	325	10	首都圏等交流活動支援事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		信州飯田ふるさと会の高齢化に伴い、集まれる人数が少なくなっていることに加え、新型コロナウイルス感染症予防の観点から会議を中止としたことから協議が止まっており、今後の会そのものの運営をどうしていくかが課題となっています。会員数も減少しており、若い世代の入会による会の若返りと、組織体制の抜本的な見直しが必要となっています。							
上記の課題解決のための有効策		感染症の状況を判断しながら、実質的な会員相互の情報共有を行える場を確保することが重要です。若い世代の掘り起しを認識していただき、新たな会員の加入が必要となっています。新たな会員を増やすことで、故郷飯田への熱い思いを語り合い、飯田への認識を改めて感じてもらいながら、飯田との交流人口や関係人口の拡大に繋がります。							
次年度に向けての取り組み		2年に1度開催する信州飯田ふるさと会連合会による「東京の飯田まつり」の開催年ですが、感染症の収束を待たなければ開催することができないため、今後の推移を見守りながら、連合会との調整を行います。開催となった場合は、会員への開催通知に新規会員の募集を掲載するなど、若い世代の新規会員の加入推進も支援します。							